



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 タカラバイオ株式会社

コード番号 4974 URL <http://www.takara-bio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仲尾 功一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 松崎 修一郎 TEL 077-565-6970

四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,355	0.8	262	△59.2	287	△56.0	22	△92.0
29年3月期第1四半期	6,306	9.5	643	476.3	653	200.2	285	ー

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △751百万円 (ー%) 29年3月期第1四半期 △807百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	0.19	ー
29年3月期第1四半期	2.37	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	65,814	58,752	89.1	487.06
29年3月期	67,143	59,985	89.2	497.32

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 58,649百万円 29年3月期 59,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	0.00	ー	4.00	4.00
30年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
30年3月期(予想)	ー	0.00	ー	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,049	6.4	487	△64.6	523	△63.7	18	△97.2	0.16
通期	33,200	13.0	3,300	3.0	3,600	0.6	1,850	36.7	15.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社 （社名）WaferGen Bio-systems, Inc.、Rubicon Genomics, Inc.
除外 1社 （社名）Rubicon Genomics, Inc.

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	120,415,600株	29年3月期	120,415,600株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	－株	29年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	120,415,600株	29年3月期1Q	120,415,600株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。今後発生する状況の変化等によっては、実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	11
(その他の注記)	13
3. 補足情報	13
(1) 経営管理上重要な指標の推移	13
(2) 連結比較損益計算書	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調が続いているものの、米国の政策動向や世界的な地政学リスク等の不確実性の高まりにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、新たに策定した3ヵ年の中期経営計画「タカラバイオ中期経営計画2019」のもと、「バイオ産業支援事業」、「遺伝子医療事業」、「医食品バイオ事業」の3つの事業部門戦略の推進とこれを支える経営基盤を強化し、グローバル企業かつ再生医療等製品企業としてのプレゼンスを向上させ、飛躍的な成長を目指していくための取り組みを推進いたしました。

その結果、売上高は、主力の研究用試薬が円高の影響により前年同期を下回りましたが、受託サービスが前年同期を大きく上回り、ほぼ前年同期並みの6,355百万円(前年同期比100.8%)となりました。売上原価は、品目別の売上構成の変化等により原価率が低下し、2,245百万円(前年同期比92.0%)となりましたので、売上総利益は、4,109百万円(前年同期比106.3%)となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費や人件費等が増加し、3,846百万円(前年同期比119.4%)となりましたので、営業利益は、262百万円(前年同期比40.8%)と減益となりました。

営業利益の減益にともない、経常利益は、287百万円(前年同期比44.0%)、税金等調整前四半期純利益は、278百万円(前年同期比42.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は22百万円(前年同期比8.0%)と減益となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

[バイオ産業支援]

バイオテクノロジー関連分野の研究開発活動がますます広がりを見せるなか、当社グループは、こうした研究開発活動を支援する製品・商品やサービスを中心に展開する当事業をコアビジネスと位置づけております。

当第1四半期連結累計期間は、研究用試薬と理化学機器の売上高が前年同期比で減少いたしました。受託サービスの売上高が前年同期比で大きく増加いたしました。

以上の結果、外部顧客に対する売上高は、5,886百万円(前年同期比101.3%)と増収となり、売上総利益は、4,016百万円(前年同期比106.5%)と増加いたしました。販売費及び一般管理費は、研究開発費や人件費等の増加により2,850百万円(前年同期比123.2%)と増加いたしましたので、営業利益は、1,165百万円(前年同期比80.0%)と前年同期を下回りました。

[遺伝子医療]

当事業では、高効率遺伝子導入技術レトロネクチン法、高効率リンパ球増殖技術であるレトロネクチン拡大培養法、siTCR等の自社技術を利用した、がん等の遺伝子治療の早期商業化を進めております。

当第1四半期連結累計期間は、売上の実績がなく、販売費及び一般管理費は、研究開発費の増加により419百万円(前年同期比112.2%)となりましたので、営業損失は、419百万円(前年同期営業損失373百万円)となりました。

[医食品バイオ]

当事業では、食から医という「医食同源」のコンセプトに基づき、当社グループ独自の先端バイオテクノロジーを駆使して食物の科学的根拠を明確にした機能性食品素材の開発、製造および販売を行っており、ガゴメ昆布フコイダン関連製品、寒天アガロオリゴ糖関連製品、明日葉カルコン関連製品、ボタンボウフウイソサミジン関連製品、ヤムイモヤムスゲニン関連製品およびキノコ関連製品等を中心に事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間は、キノコ関連製品の売上高が前年同期比で増加いたしました。健康食品関連製品の売上高が前年同期比で減少いたしましたので、外部顧客に対する売上高は、468百万円(前年同期比94.9%)と減収となり、売上総利益も93百万円(前年同期比97.4%)と減少いたしました。販売費及び一般管理費は、ほぼ前年同期並みの117百万円(前年同期比105.7%)となりましたので、営業損失は、24百万円(前年同期営業損失15百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、65,814百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,329百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少1,452百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、7,061百万円となり、前連結会計年度末に比べて95百万円減少いたしました。これは主に、社債の増加514百万円や引当金の増加155百万円があったものの、流動負債のその他に含まれる未払金の減少907百万円があったことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、58,752百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,233百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定の減少789百万円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、81百万円の支出となり、前年同期の収入から支出に転じ、1,387百万円の支出増加となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の減少374百万円やその他の流動負債の減少による支出が897百万円増加したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、12,027百万円の支出となり、前年同期の収入から支出に転じ、12,441百万円の支出増加となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出12,396百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、449百万円の支出となり、前年同期に比べて247百万円の支出増加となりました。これは主に、配当金の支払額が249百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、9,321百万円となり、前連結会計年度末より12,878百万円の減少となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高および各利益項目（営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益）のすべてにおいて、ほぼ計画通りに推移しておりますので、現時点においては、平成29年5月9日に公表した連結業績予想を修正しないことといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,078	14,667
受取手形及び売掛金	7,455	6,003
有価証券	2,000	2,000
商品及び製品	4,032	4,651
仕掛品	459	552
原材料及び貯蔵品	970	1,109
その他	998	1,376
貸倒引当金	△30	△65
流動資産合計	43,964	30,296
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,699	12,673
減価償却累計額	△5,032	△5,125
建物及び構築物(純額)	7,667	7,547
機械装置及び運搬具	6,866	6,906
減価償却累計額	△4,517	△4,618
機械装置及び運搬具(純額)	2,349	2,287
工具、器具及び備品	6,174	6,517
減価償却累計額	△3,946	△4,344
工具、器具及び備品(純額)	2,228	2,173
土地	7,297	7,285
リース資産	23	15
減価償却累計額	△22	△15
リース資産(純額)	0	0
建設仮勘定	34	64
有形固定資産合計	19,577	19,358
無形固定資産		
のれん	1,213	8,675
その他	1,087	6,312
無形固定資産合計	2,301	14,988
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,310	1,182
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	1,299	1,170
固定資産合計	23,178	35,517
資産合計	67,143	65,814

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,944	1,824
短期借入金	47	47
未払法人税等	375	435
引当金	425	581
その他	3,232	2,627
流動負債合計	6,025	5,516
固定負債		
長期借入金	82	82
社債	—	514
退職給付に係る負債	622	635
その他	426	312
固定負債合計	1,131	1,545
負債合計	7,157	7,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,965	14,965
資本剰余金	32,893	32,893
利益剰余金	10,432	9,973
株主資本合計	58,291	57,832
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,023	1,233
退職給付に係る調整累計額	△429	△416
その他の包括利益累計額合計	1,593	816
非支配株主持分	100	102
純資産合計	59,985	58,752
負債純資産合計	67,143	65,814

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	6,306	6,355
売上原価	2,439	2,245
売上総利益	3,866	4,109
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	754	898
退職給付費用	37	43
研究開発費	950	1,103
引当金繰入額	86	136
その他	1,393	1,664
販売費及び一般管理費合計	3,223	3,846
営業利益	643	262
営業外収益		
受取利息	29	19
為替差益	—	4
不動産賃貸料	4	21
その他	9	7
営業外収益合計	43	52
営業外費用		
支払利息	0	5
為替差損	28	—
休止固定資産費用	2	14
不動産賃貸費用	0	7
その他	0	0
営業外費用合計	32	27
経常利益	653	287
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除売却損	3	9
特別損失合計	3	9
税金等調整前四半期純利益	652	278
法人税、住民税及び事業税	535	409
法人税等調整額	△166	△155
法人税等合計	368	253
四半期純利益	283	24
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	285	22

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	283	24
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,100	△789
退職給付に係る調整額	9	13
その他の包括利益合計	△1,091	△775
四半期包括利益	△807	△751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△800	△753
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	652	278
減価償却費	436	580
その他の償却額	39	32
のれん償却額	43	109
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	36
その他の引当金の増減額(△は減少)	180	△26
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5	12
受取利息	△29	△19
支払利息	0	5
固定資産除売却損益(△は益)	1	9
売上債権の増減額(△は増加)	1,615	1,663
たな卸資産の増減額(△は増加)	△326	△700
仕入債務の増減額(△は減少)	△199	△282
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△156	△1,054
その他	△361	△498
小計	1,891	147
利息及び配当金の受取額	18	11
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△428	△240
過年度法人税等の支払額	△174	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,305	△81
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,028	△1,082
定期預金の払戻による収入	1,823	1,545
有価証券の取得による支出	△1,545	—
有価証券の売却及び償還による収入	1,345	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△176	△403
その他償却資産の取得による支出	△8	△18
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△12,396
その他	4	328
投資活動によるキャッシュ・フロー	414	△12,027
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5	—
配当金の支払額	△195	△445
リース債務の返済による支出	△0	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△201	△449
現金及び現金同等物に係る換算差額	△378	△320
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,140	△12,878
現金及び現金同等物の期首残高	5,568	22,200
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,708	9,321

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、当社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc. がWaferGen Bio-systems, Inc. の株式を取得したことにより、同社ならびに同社の子会社であるWaferGen BioSystems Europe S. a. r. l. およびWaferGen, Inc. を連結の範囲に含めております。なお、このうちWaferGen Bio-systems, Inc. は、当社の特定子会社に該当いたします。

また、当第1四半期連結会計期間において、Rubicon Genomics, Inc. の株式を取得したことにより、同社を特定子会社として連結の範囲に含めましたが、当第1四半期連結会計期間において、連結子会社であるTakara Bio USA, Inc. を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バイオ産業 支援	遺伝子 医療	医食品 バイオ	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	5,813	—	493	6,306	—	6,306
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,813	—	493	6,306	—	6,306
セグメント利益または 損失(△)	1,456	△373	△15	1,067	△424	643

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△424百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バイオ産業 支援	遺伝子 医療	医食品 バイオ	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	5,886	—	468	6,355	—	6,355
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,886	—	468	6,355	—	6,355
セグメント利益または 損失(△)	1,165	△419	△24	722	△459	262

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△459百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「バイオ産業支援」セグメントにおいて、当社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc. が WaferGen Bio-systems, Inc. およびRubicon Genomics, Inc. の株式を取得したことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては7,615百万円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(WaferGen Bio-systems, Inc.の買収)

当社は、平成28年5月13日開催の取締役会において、当社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc. (以下、「TBUSH社」という。)がWaferGen Bio-systems, Inc. (以下、「WaferGen社」という。)の株式を取得し子会社化することについて買収合意書を締結することを決議し、TBUSH社は、日本時間の同日にWaferGen社と同契約を締結いたしました。また、当該契約に基づき、平成29年2月28日(米国現地時間)に買収手続きを完了いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称、株式取得の相手会社の名称、事業の内容

被取得企業の名称	WaferGen Bio-systems, Inc.
株式取得の相手会社の名称	Affiliates of Sabby Management, LLCおよびその他の株主
事業の内容	研究用試薬・装置の製造・販売

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループでは、バイオ研究者向けに研究用試薬、理化学機器および受託サービスを提供しております。特にClontechブランド製品では、近年利用が盛んな次世代シーケンサー向けの試薬キットの開発に注力しており、独自技術であるSMART技術を用いて超微量RNAサンプルから効率よく遺伝子を特異的に増幅する試薬キットを開発しております。また、最近はクリニカル領域での使用を視野に入れた自動解析装置用に最適化された反応系開発にも取り組んでおります。

一方、WaferGen社は、シングルセル(1細胞)解析用装置ならびに試薬キットや、独自の微量多検体qPCR装置をバイオテクノロジー企業、製薬企業、臨床検査ラボに対して提供しております。

WaferGen社の有するシングルセル解析をはじめとした関連技術と当社グループの持つ分子生物学関連技術が組み合わせられることにより、装置販売による売上増のみならず、シングルセル解析用試薬キット製品の売上増に繋げるなど、高い相乗効果を期待しております。

(3) 企業結合日

平成29年2月28日(米国現地時間)

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

WaferGen Bio-systems, Inc.

なお、平成29年5月31日(米国現地時間)をもってTBUSH社の100%子会社であるTakara Bio USA, Inc.に吸収合併しております。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする株式取得

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成29年3月1日から平成29年3月31日まで

3. 被取得企業の取得原価および対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	37,545千米ドル
取得原価		37,545千米ドル

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間

(1) 発生したのれん

2,545百万円(22,641千米ドル)

なお、発生したのれんは、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

(3) 償却方法および償却期間

20年間にわたる均等償却

(Rubicon Genomics, Inc. の買収)

当社は、平成28年12月15日開催の取締役会において、TBUSH社がRubicon Genomics, Inc. (以下、「Rubicon社」という。)の株式を取得し子会社化することを決議し、TBUSH社は、平成29年1月17日(米国現地時間)に当該株式を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称、株式取得の相手会社の名称、事業の内容

被取得企業の名称	Rubicon Genomics, Inc.
株式取得の相手会社の名称	被取得企業の経営者およびその他の株主
事業の内容	研究用試薬の製造・販売

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループでは、基礎研究から産業応用まで幅広い分野で利用されている次世代シーケンス解析用試薬キット開発に注力しております。Rubicon社が当社グループに加わることで、同社の持つ超微量DNA配列解析用サンプル調製技術と当社グループの持つ超微量RNA配列解析用サンプル調製技術が補完的に組み合わせることにより、超微量核酸解析領域でより幅広い製品・サービスを提供することが可能となります。さらに、WaferGen社の次世代シーケンス解析用前処理システム(装置)が加わる事により、基礎研究から産業応用まで幅広い領域に製品・サービスを提供することが可能となります。

(3) 企業結合日

平成29年1月17日(米国現地時間)

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

Rubicon Genomics, Inc.

なお、平成29年3月31日(米国現地時間)をもってTBUSH社の100%子会社であるTakara Bio USA, Inc. に吸収合併しております。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする株式取得

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成29年1月17日から平成29年3月31日まで

3. 被取得企業の取得原価および対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	74,426千米ドル
取得原価		74,426千米ドル

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間

(1) 発生したのれん

5,163百万円(45,228千米ドル)

なお、発生したのれんは、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

(3) 償却方法および償却期間

20年間にわたる均等償却

(その他の注記)

(四半期連結損益計算書関係)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

研究開発費の内訳

研究開発費の総額

1,103百万円

このうち主なものは、次のとおりであります。

従業員給料及び賞与

326

退職給付費用

13

引当金繰入額

40

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

(平成29年6月30日現在)

現金及び預金勘定

14,667百万円

預入期間が3か月を超える定期預金

△5,345

取得日から3か月以内に償還期限が到来する短期投資(有価証券)

—

現金及び現金同等物

9,321

3. 補足情報

(1) 経営管理上重要な指標の推移

① キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

回次	第15期 第1四半期連結累計期間	第16期 第1四半期連結累計期間	第15期
会計期間	自平成28年4月1日 至平成28年6月30日	自平成29年4月1日 至平成29年6月30日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,305	△81	3,584
投資活動によるキャッシュ・フロー	414	△12,027	13,493
財務活動によるキャッシュ・フロー	△201	△449	△280

② 地域別売上高

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

(単位:百万円)

日本	米国	中国	中国を除く アジア	欧州	その他	合計
2,337	1,701	1,226	356	625	59	6,306

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

(単位:百万円)

日本	米国	中国	中国を除く アジア	欧州	その他	合計
2,414	1,776	1,075	432	591	64	6,355

③ 報告セグメントごとの研究開発費

(単位:百万円)

回次	第15期 第1四半期連結累計期間	第16期 第1四半期連結累計期間	第15期
会計期間	自平成28年4月1日 至平成28年6月30日	自平成29年4月1日 至平成29年6月30日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
バイオ産業支援	547	650	2,094
遺伝子医療	369	415	1,860
医食品バイオ	7	1	29
全社共通	26	36	116
合計	950	1,103	4,101

(2) 連結比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	平成29年3月期 第1四半期 連結累計期間実績	平成30年3月期 第1四半期 連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
(売上高)				
研究用試薬	4,737	4,660	△77	98.4%
理化学機器	509	472	△36	92.8%
受託	436	633	197	145.3%
その他ファイナ	130	119	△10	92.2%
バイオ産業支援計	5,813	5,886	73	101.3%
遺伝子医療	—	—	—	—
健康食品	227	179	△48	78.7%
キノコ	265	288	23	108.8%
医食品バイオ計	493	468	△24	94.9%
売上高計	6,306	6,355	48	100.8%
(営業損益)				
売上高	6,306	6,355	48	100.8%
売上原価	2,439	2,245	△194	92.0%
売上総利益	3,866	4,109	243	106.3%
販売費一般管理費	3,223	3,846	623	119.4%
運送費	146	143	△3	97.8%
宣伝費	24	19	△5	79.4%
促進費	214	222	7	103.7%
研究開発費	950	1,103	153	116.1%
商標使用料(宝HLD)	1	2	0	109.8%
管理費、その他	1,841	2,302	460	125.0%
事業税(外形基準)	43	53	10	122.9%
営業利益	643	262	△380	40.8%
(営業外損益)				
営業外収益	43	52	9	121.3%
営業外費用	32	27	△5	84.1%
経常利益	653	287	△366	44.0%
(特別損益)				
特別利益	2	0	△2	9.0%
特別損失	3	9	5	246.2%
税金等調整前四半期純利益	652	278	△374	42.7%
法人税等	368	253	△114	68.9%
四半期純利益	283	24	△259	8.5%
非支配株主に帰属 する四半期純利益	△1	1	2	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	285	22	△262	8.0%
減価償却費(有形・無形)	436	580	143	132.9%
研究開発費	950	1,103	153	116.1%

セグメント別損益(営業利益)

	平成29年3月期 第1四半期 連結累計期間実績	平成30年3月期 第1四半期 連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
バイオ産業支援	1,456	1,165	△290	80.0%
遺伝子医療	△373	△419	△45	—
医食品バイオ	△15	△24	△8	—
共通	△424	△459	△35	—
計	643	262	△380	40.8%